



同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶



2021年
2月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

跡取り物語シリーズ⑩

この地にあり続けるために

高崎支部・青年部会合同例会

十二月三日(木)、ピエント高崎(Zoom併用)を会場に「高崎支部・青年部会合同例会／跡取り物語シリーズ⑩」を開催。結婚式・披露宴事業の(株)五洲園(アメイジンググレイス前橋)、代表取締役・萩原隆史氏(前橋支部)が報告者を務め、「創業一三六年、五代目社長の新展開／回顧と変革！この地にあり続けるために」をテーマに、自身の経営体験を語りました。



跡取り物語シリーズは、事業承継や後継者の悩み・課題などの交流を目的に、平成十八年からスタートした高崎支部の名物例会。島山氏が報告した第一回から昨年の山崎氏まで、過去十五回にわたり県内各支部で活躍する会員を報告者に学び合ってきました。

萩原氏は今年(令和二年)からグループ全体の代表に就任するも、これからというタイミングでコロナショックが直撃。そうしたなか、改めて自社の一三六年に及ぶ歴史・変遷を辿り、創業期の苦労、戦後からの復興、バブル崩壊後の景気低迷などを乗り越えられたのは「時代の移り変わりに合わせ、料亭から宴会場、総合結婚式場、ケータリング事業など、常に事業体を変化させてきたから」と言います。

跡取り物語シリーズのメインテーマである事業承継については、父親とのやり取りや関係性、理想と現実のギャップ、同族経営の難しさなどを様々なエピソードを交えて紹介。入社時に心に決めた「自分の意思で入ったからには絶対に言い訳をしない」という信念、さらに「現状のピンチを何としても切り抜

け、自分の跡を誰かが継ぎたいなる会社、魅力ある会社を絶対につくる」との固い決意を語りました。



また、これから同社が目指す方向性として、いくつかの具体策を挙げながら「結婚式がゴールではなく、その後も夫婦や家族を支援する場所、絆を深める場所にする。そして、地域にとってなくてはならない存在にならなくてはいけない」と力強く語りました。

報告終了後は「誰に必要とされる仕事ですか?」をテーマにグループ討論を実施。「顧客満足が利益を生む。顧客の信頼を築き、継続させるのが大事」「突き詰めれば社会に必要とされること。それが社員やその家族、取引先の幸せにもつながる」まずはステークホルダーの声をしっかりと聴くことから、様々な視点から活発な意見が出されていました。

日本初、新たな 事業への挑戦

渋川吾妻支部12月例会



十二月十五日(火)に開催された渋川吾妻支部例会は「九ヶ月間で前年対比売上九〇%減!」コロナ禍の中、日本初の新たな事業への挑戦と開始」をテーマに、総合結婚式場を営むホワイトパーク(株出雲)社長の中野賢幸氏(同支部)が報告しました。

ダイヤモンドプリンセス号の報道から数日で結婚式や宴会の予約がほぼキャンセルとなり、三月から十一月までの売上が九割も減少した同社。様々な支援を受けながらも「先の見通しがまったく立たず、心が折れかけた」と語る中野氏。

しかし、気持ちを強く切り替え「今回のコロナウイルスは当社に何を投げかけているのか」と、考え抜いた中野氏は、現在のビジネスモデルだけのスタイ

ルから脱却することを決意。

自社の強みを分析し直し、起死回生を目指して氷の彫刻を常設展示する日本初の施設「アイスワールド」を元旦にオープンすることを決め、急ピッチで準備をすすめている最中であることを初めて明かしました。

参加者からは「新たな道が開かれることを心から信じ、応援したい」「ぜひがんばってほしい」などのエールが贈られました。

今回は「会員企業応援企画・第三弾」とも位置づけられており、例会後は感染防止対策が施され、一人ひとりがシールドの中にいるような不思議な空間で忘年会が行われました。

(※アイスワールドは二度目の緊急事態宣言を考慮し、現在は休館中です)

オンライン忘年会

桐生支部12月例会

十二月十八日(金)、県内東毛地域における新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、急遽、オンライン(Zoomミーティング)に切り替えて「桐生支部十二月例会(忘年会)」を開催しました。

当日は堅苦しい進行は抜きにして、オンライン上に入室した参加者から自分好みの飲み物を片手に乾杯。今年(二〇二〇年)の振り返りやアフターコロナに

向けての展望、あるいは桐生支部活動に対する意見や提案、はたまた夫婦・家族のお悩み相談、さらには日本酒の楽しみ方に関する持論などなど、多岐にわたる話題で盛り上がりました。

しばらくは会員同士が膝を突き合わせて経営論をぶつけ合う、同友会本来のスタイルで例会を開催するのが難しい状況が続きます。また、企業経営においても顧客や取引先との対面機



社員と伝わる「伝え方」は?

前橋支部12月例会

前橋支部では十二月二十三日

(水)、ZOOMミーティングを会場に支部例会を開催。「社員に「伝わる」伝え方とは?」あなたの言葉、相手に届いていますか?」とのテーマで、うつや心の病気になってしまった方の復職や再就職・復学を支援する事業を行う㈱ケルン、代表取締役・乗附和子氏(富岡安中支部)が報告しました。

乗附氏は、社内でのミスコミュニケーション事例を紹介し

会の消失は、様々なカタチで影響を及ぼしかねません。そうした時代だからこそ、オンラインをはじめとした各種ツールを上手に活用することが求められていると実感する例会でした。

たうえで、立場の違いや文化、価値観、年齢差など相手との共通項が少ない事が「伝わらない」に繋がると指摘しました。さらに、伝わらない事がストレス要因の一つとなり、心や身体の不調に繋がる危険性も紹介し、運動や睡眠、会話など自分に合ったリラクゼーション法を身につけることも勧めました。

例会アンケートには「相手の立場に立って伝える事が大切」「多様性の時代だからこそ、コミュニケーションが重要」といった感想が記されていました。



上野村油田化計画

富岡安中支部12月例会

富岡安中支部十二月例会は、「人が人として幸せに生きられるお手伝い」と題して、木くず



から液体燃料を抽出する技術開発に取り組むエムラボ(株)社長の三枝孝裕氏が報告しました。三枝氏は、上野村に移り住んだいきさつ、人口一二〇〇人の村で創業した経緯から、持続可能な社会づくりの一役を担う今後の計画まで、その熱い想いを切々と語りました。

参加者からは「上野村をとても愛していることが伝わります。とても興味のあるビジネス

なので、多くの人に教えたい」「夢のあるプロジェクト、とにかく発想が素晴らしい！視点を変えるとまだまだビジネスチャンスがあることを学んだ」「廃材が燃料になるなんて凄い！数年後が楽しみです」「三枝さんの人柄が感じ取れました。もっと深く知りたいので上野村へ出掛けたいと思いますので、そのときは宜しくお願いします」等々、驚きと称賛の声が上がっていました。

例会后は会場となったイル・ジラソレで有志による望年会も行われました。

みんなの笑顔をつつ

太田支部12月例会

太田支部では、十二月十七日(木)、ティアラグリーンパレスを会場に、一年を締めくくる「忘年会」を開催。終息が見えないコロナ禍においては今まで通りの忘年会とはいかず、参加者と会場側が協力し、万全の感染対策を取った上での忘年会となりました。

コロナショックに揺れた二〇二〇年を振り返る忘年会は、企画の段階からネガティブ

な発言が多く聞かれることが予想できたため、ネガティブ発言を禁止して、仕事・プライベートでの明るい話題を持ちより笑顔で過ごすことを大前提に進行しました。パーティーションやマスク、お酌のない会場はこれまでとは様子が違うように見えましたが、ポジティブな発言が飛び交い、マスク越しでも分かる笑顔が例年通り見受けられました。

オンライン例会が全体的にも増える昨今ですが、参加者一人ひとりが正しい知識と行動で対策を行い、可能な限り参加型の例会が開催できればと願うばかりです。



学生に伝えたこと

沼田支部12月例会



沼田支部では、十二月十五日(火)、司鮎を会場に支部例会を開催。新島短大(岩田学長/高崎支部)と前橋国際大(大森学長/前橋支部)で、会員経営者が講師となる連続講座に沼田支部から登壇した、(有)農園星ノ環・星野支部長と(有)月夜野きのこ園・金子副支部長が、学生に伝えた講義内容を支部会員へ共有すべくダイジェスト版で報告しました。

前国大で登壇した金子氏は、「仕事と人生」をテーマに、学生時代から現在までの自身の歩みを紹介したうえで、経営者と

なった今、思うことを率直に語りました。

新島短大で登壇した星野氏は、「勘違い」をキーワードとして、マインドセットの考えをかみ砕き紹介。しなやかな考え方の重要性を訴えました。

どちらの講義も、ダイジェスト版ではなく本編を聞きたくなる中身の濃い内容でした。

参加者アンケートには「それぞれの考え方がとても魅力的」「こういったフィードバックはとてもためになる」といった感想が綴られていました。

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

本場直送の讃岐うどん店



喜八郎 (有)マルイ

社長 **辻川 雅弘** 氏 (福岡安中支部所属)

Q & A

▼事業概要

当社はもともと、近江商人だった曾祖父が呉服・反物を扱う辻川商店を開業して移り住んだのが始まりで、以来地元を根をはり商売を続けてきています。

昭和三四年に(有)マルイへと法人化、平成四年には父が社長に、そして平成二九年に私が社長に就任しました。

衣料品販売のほか、平成三年からは第二の柱としてワーキング部門にも参入。また平成一七年には第三の柱としてシャディ



サラダ館にFC加盟。そして平成三〇年八月に第四の柱として讃岐うどん店「喜八郎」をオープンしました。

私自身は平成七年にマルイへ入社しました。いずれ戻るつもりではいりましたが、実はその年に店舗を火災で消失してしまい、再建のために急ぎよ東京から戻ってきました。

▼飲食業参入の経緯

本社と洋品店のある下仁田町は、人口減少・高齢化が急速に進み、なかなか安定した成長や利益を出すのが困難であると、長年感じていました。

暗中模索が続くなか、以前からやってみたいと思っていた飲食業を第四の柱にすることを決

意しました。

当時、四国にいる学生時代の友人のもとを何度か訪ねるなかで、「讃岐うどん」の美味しさ・素晴らしさに感銘を受けたのです。そしてあちこちを食べ歩いてみると「これは旨い!」と思う麺に出会い「この麺を使ってうどん店を開業するぞ」と心に決めました。そして製麺所を突きとめ何度も足を運んでねばり強く交渉した結果、晴れて了解していただきました。

オープン後、しばらくは赤字続きでしたが、後半には多くのお客様にご来店いただき、終わってみれば一年目は黒字になりました。

しかし、スタッフがなかなか集められず、やっと集めたスタッフ間で揉め事があったり、人員不足でお客様を必要以上に待たせてしまったり、その人員不足を解消するために導入した券売機が不評で来なくなっ



まうお客様がいたり、日々悩みの連続でした。

▼コロナ打撃と今後の展望

そんな中で昨年からコロナウイルス感染拡大、そして緊急事態宣言。軌道に乗せるどころか奈落の底に突き落とされたような状況が続いています。

オープン当初は二店舗、三店舗と拡げていきたいと考えていましたが、今はそれぞれではありません。

しかしながら、今後はコロナ禍を考慮した新しい業態も模索していきたいと構想中です。

「美味しい本場の讃岐うどんを皆さんに食べてもらいたい」という一心で今も営業していますので、福岡方面にお越しの際は、ぜひご来店ください!

同友会会員の皆様限定で、食後のコーヒーをサービスさせていただきます。

当店に限らず、飲食店は今、苦境に立たされています。ぜひお知り合いのお店に足を運び、応援していただけたら幸いです。

所在地／福岡市富岡3053
連絡先／TEL0274-63-0506
URL／<http://kihairoh.gunmablog.net/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【医療機器の管理システムを開発】

(株)メディカルバイオサイエンス

医療機器の保守管理やレンタル事業を手掛ける(株)メディカルバイオサイエンス(代表取締役・大澤聡氏/太田支部所属)は24日、医療機器の所在や利用状況を管理するシステム「forista SECURE (フォリスタセキュア)」を開発したと発表した。病院内で必要な機材を探す手間が省け、医療従事者の負担を低減できる。来月1月に発売予定。小型の電波発信機を管理するペダルノート(東京都)のノウハウと、院内に整備済みの通信環境を活用することで導入コストが抑えられるという。3年間で150施設への導入を目指すとする大澤社長は「提供価格は大学病院規模で1千万円前後。競合他社と比べて3千万円ほど安く導入できる」と話している。

[12 / 25付上毛]

【泊まってアート体験】

(有)秀水園

(株)ホテル松本楼

コロナ禍でも新たな旅の楽しみ方を提供しようと、伊香保温泉の3旅館が1月12～25日、合同で「伊香保くらし泊覧会」を開催する。県内作家が手掛ける花器や織物、器など暮らしにまつわる道具を客室にしつらえたり、食事の際に用いたりして、宿泊客に実際に体感してもらおう初めての企画。若女将らは「宿泊を通じて、良質な道具を使う喜びを味わってもらえるといい。コロナで旅館も作り手も売り手も苦しんでいるが、皆で群馬の魅力を発信したい」と話す。連携したのは「いかほ秀水園」(有)秀水園、取締役社長・飯野由希子氏/渋川吾妻支部所属、「千明仁泉亭」「ホテル松本楼」(株)ホテル松本楼、代表取締役・松本光男氏/沼田支部所属。各旅館の若女将、飯野由希子さん、千明恭子さん、松本由起さんと、石段街の土産物屋「民芸山白屋」の真淵智子さんらが実行委員会をつくり、企画した。

[12 / 31付上毛]

【元日に稲刈り】

(株)三光ホールディングス

常識では考えられなかった真冬の稲刈りが1日、高崎市東

部の田んぼで行われた。同市で40%の稲作や野菜の生産加工を手掛ける三光ファーム(株)三光ホールディングス、代表取締役・廣瀬光昭氏/前橋支部所属)が実施した。生育期間の長い品種を採用し、栽培方法を工夫してたどり着いた。年が明けても倒れなかった「開運米」として販売するとともに、新しい農業の在り方を提案し、普及に取り組む。価格は縁起の良い数字とされる「3、5、8」と社名の「サン(3)コー(5)ファー(8)ム(6)」を重ねて1キロ3,586円とした。売り上げの5～7割を福祉医療機構の「子供の未来応援基金」に寄付する。廣瀬社長は「寄付を前提に価格設定した。社会貢献型の新しい農業として提案したい」としている。

[1 / 3付上毛]

【テレワークの勤怠管理】

(株)アイエムエス

(株)アイエムエス(代表取締役・尾高一秀氏/前橋支部所属)は、テレワーク中の社員の勤怠管理を正確にできるシステム「kaopa(カオパ)」を開発した。スマートフォンなどからの「出勤」「退勤」などの報告を事前に顔情報が登録された人でないといけないように設定。衛星利用測位システム(GPS)による位置把握機能も付いていて、「誰が」「どこで」働いたかを正確に記録できる。

[1 / 13付上毛]

【技を結集 ギフト開発】

加栄レース(株)

布地製造の加栄レース(株)(代表取締役・佐藤真人氏/桐生支部所属)は、海外の有名服飾ブランドが採用するラメ入り生地で作ったクマの縫いぐるみを発売した。同社は1926年創業。10年ほど前に同業他社の技術を引き継ぎ、ラメ入り生地の製造販売を始めた。光の反射で色合いが変わる特徴が評価され、さまざまな海外ブランドで採用されるようになった。この繊維加工技術を広くアピールする手段として縫いぐるみを企画。「座る」「遠大なはかりごと」といった意味を込めて「ENTOKUN(エントクン)」と名付けた。9,800円(税別)。佐藤社長は「糸作りや縫製など、さまざまな企業の技術を詰め込んだ。『シャネル』や『イヴ・サンローラン』で使われる生地の色を確認してほしい」とPRしている。

[1 / 15付上毛]

限りある資源を、次世代へ

株式会社 エステイビー

Stability Topline Business Co.,Ltd.  Zero Emission

産業廃棄物収集運搬 産業廃棄物リサイクルの提案 一般貨物自動車運送 塗装プラント清掃

〒379-2123 前橋市山王町1-19-14
TEL 027-212-3312 FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせて自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL <http://kk-sanei.net/>

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注ができました。
好評「部品加工のマテハン」

URL:<http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

今お使いの会計ソフトを 「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール

YOJITSU

<https://yojitsu.net/> 

同友会 高崎支部会員 株式会社 **ヨスプラ** ☎ 0120-638-377

第9回 理事会報告

日時 一月十二日(火)
※今回も同友会事務所とウエブを併用したハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)
正副代表理事/山岸、澤浦、田村、提督、町田、常任理事/戸塚、吉池、布施、増田、佐藤、海老沼、佐藤、星野、佐藤、理事/小林、杉崎、古澤、高屋敷、榎原、神保、渡辺、金井、小鮎、関口、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十四名)

【議事】
前橋支部の古澤氏が議長をつと

とめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第九回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告
各組織担当者より、案内報告等がありました。

2. その他

① 田村代表理事より全国幹事会の報告があり、あわせていくつかの抜粋した資料が紹介されました。
② 三月に福島で開催される第五十一回中小企業問題全国研究集会の案内、県からの雇用調整助成金の申請無料相談の案内などがありました。

II. 審議・承認事項

1. 役員選考について
① 二〇二一年度の理事候補者について追加提案があり、これを信任しました。
② 二〇二一年度の組織機構案とあわせて新年度の常任理事候補者が総務会より提案され、これを信任しました。
③ 二〇二一年度の監事候補選任案についてこれを承認しました。
2. 定時総会の開催について
四月開催予定の定時総会について審議し、総会議事と記念講演をハイブリッド式で企画することを申し合わせました。
3. 入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者三名、退会者二名を承認。会員数は五二八名変わらずとなりました。尚、富岡安中支部は年度目標の七名入会を見事に達成されたことがあわせて報告されました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換
「新年度の活動方針案策定に向けて」、それぞれが用紙に意見を記入し、それをもとに率直な意見交換が行われました。
2. 第十回理事会の開催確認
次回理事会を左記の通り開催することを確認しました。
日時/二月二日(火)
会場/同友会事務所
+ウエブ(併用)

新会員ご紹介

1 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(株)ワークミモザ



代表取締役
井上 淳一
S40年生

〒372-0006 伊勢崎市太田町264-3
TEL: 0270-50-0558
FAX: 0270-50-0559
障害福祉サービス事業(就労継続支援B型事業所)
音楽鑑賞
【紹介者/本多宏弥】
2020年の8月に障害者の就労継続支援B型事業所を設立しました。障害をお持ちの方々に社会とのふれあいを持ってもらい、生きがい・希望を見つけ、人生を楽しんでもらいたいと願って開業しました。会員の皆様と交流し、いろいろな情報・助言を頂ければと思います。

伊勢崎支部

コシバ電機(株)



代表取締役
小柴 淳
S53年生

〒370-2342 富岡市別保169-1
TEL: 0274-62-2111
FAX: 0274-62-2114
電気工事全般
ゴルフ、バイク
【紹介者/小坂橋哲也】
弊社は「音・光・水をトータルシステムアップする」を合い言葉に工場、店舗、住宅、公共工事などの電気工事に携わっている会社です。昨年事業を引き継ぎ、本格的に経営について学びたいと思っていたところに声をかけていただきました。同じ地域で活躍されている経験豊富な先輩諸兄より色々なことを学ばせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

富岡安中支部

(有)ハラダパーツ



代表取締役
原田 武
S62年生

〒370-2354 富岡市南後箇513-3
TEL: 0274-63-1647
FAX: 0274-64-4730
金属部品の切削加工
登山、キャンプ、読書
【紹介者/関口貴志】
当社はNC旋盤・マシニングセンターを中心に、金属部品の切削加工を行っております。異業種の皆様との会話を通し、自分の中での経営理念についてしっかりと考える機会をつくりたいと思っております。また、新しいワクワクするようなものづくりの未来を共に実現させていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

富岡安中支部

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷

優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がりに
「水なし印刷」システム
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO2を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所

上武印刷株式会社
〒370-0015 高崎市島野町890-25
TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/



アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: http://www.apm-f.com E-mail: fuse@apm-f.com